

## 地域銀行の令和 7 年 9 月期決算の概要

### 1. 損益の状況（銀行単体ベース）

○ 令和 7 年 9 月期の当期純利益は、資金利益の増加を主因として、前年同期に比べ、26% の増益。

（単位：億円）

	R5 年 9 月期	R6 年 9 月期	R7 年 9 月期	前年同期比
業務粗利益	20,622	22,896	25,102	2,206
資金利益	19,247	20,987	23,899	2,912
役務取引等利益	3,310	3,518	3,541	23
その他業務利益	▲ 1,958	▲ 1,634	▲ 2,359	▲ 725
うち、債券等関係損益	▲ 1,791	▲ 1,289	▲ 2,482	▲ 1,193
経費	▲ 14,224	▲ 14,602	▲ 15,288	▲ 685
実質業務純益	6,397	8,294	9,814	1,520
コア業務純益	8,189	9,584	12,286	2,702
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）	7,983	9,306	11,962	2,656
与信関係費用(※)	▲ 645	▲ 674	▲ 796	▲ 122
株式等関係損益	2,095	1,900	2,957	1,058
当期純利益	5,633	7,158	9,030	1,872

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

	R5 年 9 月期	R6 年 9 月期	R7 年 9 月期
貸出金（末残）	317.7 兆円	326.5 兆円	339.8 兆円

### 2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

○ 令和 7 年 3 月期に比べ、不良債権残高は概ね横ばい、不良債権比率は低下。

	R6 年 9 月期	R7 年 3 月期	R7 年 9 月期
不良債権残高	5.6 兆円	5.5 兆円	5.5 兆円
不良債権比率	1.69%	1.64%	1.59%

### 3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

○ 令和 7 年 3 月期に比べ、国際統一基準行、国内基準行ともに自己資本比率は上昇。

（国際統一基準行：10行）

（国内基準行：88行）

	R7 年 3 月期	R7 年 9 月期
総自己資本比率	13.45%	14.43%
Tier1 比率	13.20%	14.10%
普通株式等 Tier1 比率	13.16%	14.06%

	R7 年 3 月期	R7 年 9 月期
自己資本比率	10.23%	10.36%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）R5年9月期～R6年9月期の集計対象は100行（地方銀行62行、第二地方銀行37行及び埼玉りそな銀行）

R7年3月期～R7年9月期の集計対象は98行（地方銀行61行、第二地方銀行36行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。